

ご存じですか！文化財

84

金剛院の「画像板碑」

市指定有形文化財 昭和52年3月1日指定



問合せ
生涯学習課
(☎0480・62・1223)



根古屋485 金剛院

鮮やかな朱塗りの山門を構える金剛院。文禄5(1596)年に日出安から移転し、末寺27カ寺を有する大寺院として御朱印30石を賜ったといえます。

江戸初期の『武州騎西之絵図』によれば、周囲には堀が巡り、寺内の出入りに橋が架けられていました。騎西城が有事の際、防御施設としての軍事機能も兼ね備えていたようです。

境内には、高さ3・14m、幅1・29mの画像板碑があります。

阿弥陀如来を中心に観音



と勢至菩薩の2尊を伴って極楽浄土へ迎える姿(阿弥陀三尊来迎図)が線刻(線彫り)されています。画像は、のびやかな線で描かれていて、来迎画像板碑では、日本最大といわれる貴重な歴史資料です。

絵図によると、古くは騎西城の大手門近くにあったとされ、今でもその付近を「石阿弥陀耕地」と呼んでいます。